第１　令和８年度（2026 年度）当初予算

令和８年度（2026 年度）当初予算は、優先して取り組むべきものとして、令和７年８月豪雨をはじめとする災害からの復旧・復興及び「くまもと新時代共創基本方針」に基づく「人材の育成・確保」「次世代の育成」「共生社会の実現」の取組み等を中心に編成しています。

第１　令和８年度（2026 年度）当初予算

（１）予算編成の基本的な考え方

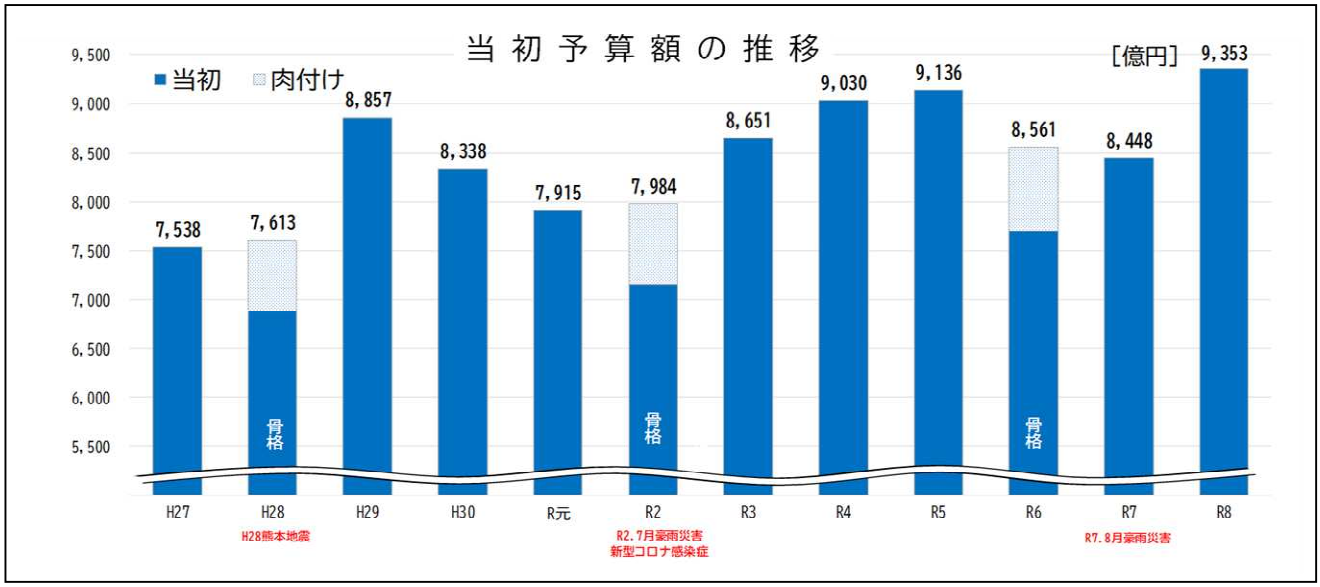
令和８年度（2026 年度）当初予算は、優先して取り組むべきものとして、令和７年８月豪雨をはじめとする災害からの復旧・復興及び「くまもと新時代共創基本方針」に基づく「人材の育成・確保」「次世代の育成」「共生社会の実現」の取組み等を中心に編成しています。

（２）当初予算の規模

一般会計当初予算の規模　９，３５３億円

当初予算の規模は、前年度比 905 億円の増（＋10.7%）となりました。

これは、人件費や市町村に交付する税交付金などの義務的な経費の増、令和７年８月豪雨からの復旧を中心とする災害復旧費の増、学校給食・高校授業料無償化や地域未来基金費の積立てなど国の施策に伴う増などが主な要因です。



（３）当初予算の特色

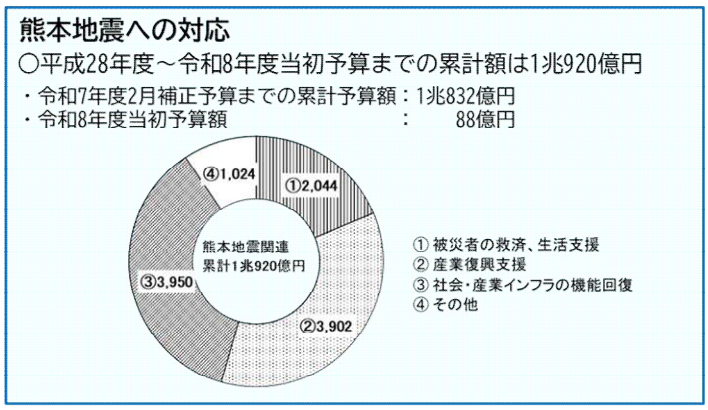
１　災害からの復旧・復興　　５４０億円

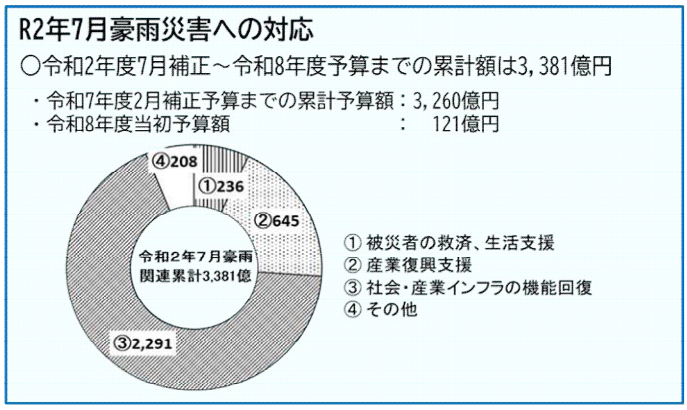
熊本地震、令和２年７月豪雨からの創造的復興や令和７年８月豪雨からの復旧・復興に必要な予算を計上

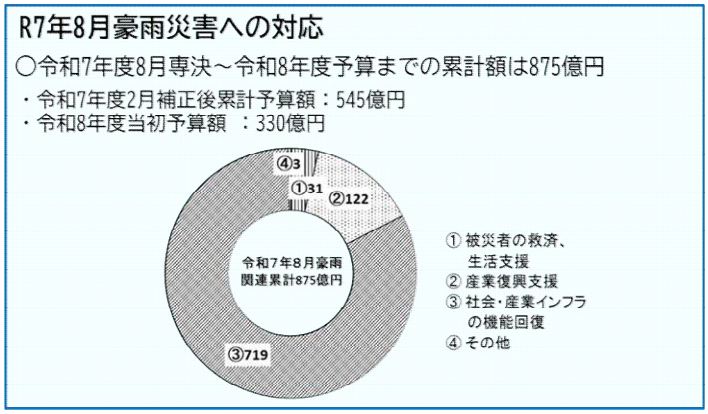
２　くまもと新時代共創総合戦略の推進に必要な新たな取組み　４０億円

人材の育成・確保、次世代の育成、共生社会の実現に必要な予算を計上

【平成２８年熊本地震、令和２年７月豪雨災害、令和７年８月豪雨災害への対応（累計予算額）】







※表示単位未満の端数処理の関係で図中の計算が合わないことがある

参考　特別会計予算の内容

県が特定の事業を行う場合、その経理を明確にするために、一般の歳入歳出と区分して、法令や条例により設置された会計を特別会計といいます。

本県では、中小企業振興資金特別会計をはじめ 15 の特別会計があり、その令和８年度（2026 年度）当初予算額の合計は、3,191 億 14 百万円となっています。

令和８年度（2026 年度）特別会計の当初予算の詳細は、付表 3（45 ページ）のとおりです。